

主催：NPO法人リーピングケア草の根会

# dialogue

ダイアログの会

第53回 少年事件にみる思春期・青年期の課題を考える  
～17歳危機説・14歳危機説について～

発題者 市川 太郎 (いちかわ たろう) さん (当NPO理事長 施設経験者)

<発題概要>

思春期・青年期は一般的に「子どもから大人になっていく過渡期」であり、不安定で感情の起伏が激しく「やっかいな年頃」との印象がある。それは昆虫が「羽化」する成長期の進化現象に例えられることもある。人間の場合は「身体と心」の成長バランスが最も不安定になる時期と重なり学童期の安定期と比較され「第2反抗期」「孤独な季節」「荒れる嵐の時期」とも評される。少年犯罪史ではこの時期を「17歳危機説」と評することもあった。曰く「理由なき反抗」「危険な17歳」「キレル17歳」などのキャッチフレーズは映画やドラマの題材になった。しかし近年はたびたび表出する少年事件によって「14歳危機説」が新たに浮上してきている。今回は戦後の少年犯罪史の中から「17歳危機説」や「14歳危機説」が該当する少年事件の概要を検討してみたい。



期日：2023 (令和5) 年11月11(土)

時間：14:00～16:00 (13:45～受付開始)

場所：板橋地域センター 地下1階洋室

板橋区板橋3丁目14番15号 最寄り駅 都営三田線「板橋区役所前」下車5分  
東武東上線「下板橋」下車10分 JR埼京線「板橋」下車20分

参加費：1,000円 (NPO会員 500円) 高校生以下無料

定員：30名 (定員になり次第締め切ります。要申し込み)

備考：お子様連れでの参加可能 対面のみ お問い合わせ下さい



一般にダイアログとは「対話、対談」と訳されますが、この会で用いているダイアログの意味は単なる情報のやり取りではなく、話し手と聞き手が理解を深めながら、互いに共感や意識・行動の変化を引き出しあうような創造的なコミュニケーションのあり方を指します。この会では、議論でも雑談でもなく、互いの立場を理解しながら、様々な人と対話し、色んなことを共に考えていきたいと思います。



(今後の予定)

12月9日 (土) 板橋地域センター地下1階洋室

外川達也 (とがわたつや) さん

強度行動障害を有する人への支援から学ぶ

～その人らしい暮らしの実現～

ダイアログの会はどなたでも参加可能です。

参加費が会員と、非会員で異なります。

NPO会員登録当日可能。お気軽にお問い合わせ下さい。

正会員 5,000円/年会費

協会員 1,000円/年会費

賛助会員 10,000円/1口

※ 年会費は4月1日～翌年3月31日までの期間です。

NPO法人リーピングケア草の根会

問い合わせ先/申し込み先 090-3807-5439 (代表携帯 市川太郎) mail: dialogue.talking@gmail.com